

社会資本整備総合交付金 事後評価シート
安心・安全で元気あふれる快適都市の実現

平成30年8月

愛知県東海市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画(市街地整備) 事後評価書

平成30年8月

計画の名称	安心・安全で元気あふれる快適都市の実現																												
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	東海市																										
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市の玄関である太田川駅周辺の市街地再開発事業や区画整理事業の整備を行い活力を生み持続的な発展を支える都市拠点の形成を図るとともに、住民が安全・安心にのびのびと暮らすことのできる住環境を整備することで、快適で利便性の高い都市づくりを図る。 ・多世代住民の交流に向けたまちづくりの形成と、花や緑のあふれる生活空間の形成や生活利便性の向上を図ることにより、住民が心地よく健康に暮らすことのできる都市づくりを図る。 																												
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の向上による満足度を52.8%から60.0%に増加 ・鉄道主要駅(8駅)における乗降客数を41,546人/日から41,546人/日に維持 ・市民活動に参加している人の割合を45.0%から55.0%に増加 																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H25当初)</th> <th>(H27末)</th> <th>(H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活環境の向上による満足度を集計する。 ・まちづくりアンケートによる、(1)歩道の設置が十分だと思っている人の割合(2)まちの公園・街路樹などに満足している人の割合、(3)住環境が整備され快適な生活が確保されていると思う人の割合の項目を集計する。 (1)+(2)+(3)/3=生活環境の向上による満足度</td> <td>52.4 (H24)</td> <td>57.0</td> <td>60.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄道駅(8駅)における乗降客数を集計する。 ・市内に存在する鉄道駅(8駅)の乗降客数の合計を集計する。</td> <td>41,546 (H22)</td> <td>41,546</td> <td>41,546</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民活動に参加している人の割合を集計する。 ・コミュニティや町内会・自治会などの地域行事や活動、または市民活動に参加している人の割合を集計する。</td> <td>45.0 (H24)</td> <td>51.0</td> <td>55.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H25当初)	(H27末)	(H29末)	生活環境の向上による満足度を集計する。 ・まちづくりアンケートによる、(1)歩道の設置が十分だと思っている人の割合(2)まちの公園・街路樹などに満足している人の割合、(3)住環境が整備され快適な生活が確保されていると思う人の割合の項目を集計する。 (1)+(2)+(3)/3=生活環境の向上による満足度	52.4 (H24)	57.0	60.0		鉄道駅(8駅)における乗降客数を集計する。 ・市内に存在する鉄道駅(8駅)の乗降客数の合計を集計する。	41,546 (H22)	41,546	41,546		市民活動に参加している人の割合を集計する。 ・コミュニティや町内会・自治会などの地域行事や活動、または市民活動に参加している人の割合を集計する。	45.0 (H24)	51.0	55.0	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																								
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																										
	(H25当初)	(H27末)	(H29末)																										
生活環境の向上による満足度を集計する。 ・まちづくりアンケートによる、(1)歩道の設置が十分だと思っている人の割合(2)まちの公園・街路樹などに満足している人の割合、(3)住環境が整備され快適な生活が確保されていると思う人の割合の項目を集計する。 (1)+(2)+(3)/3=生活環境の向上による満足度	52.4 (H24)	57.0	60.0																										
鉄道駅(8駅)における乗降客数を集計する。 ・市内に存在する鉄道駅(8駅)の乗降客数の合計を集計する。	41,546 (H22)	41,546	41,546																										
市民活動に参加している人の割合を集計する。 ・コミュニティや町内会・自治会などの地域行事や活動、または市民活動に参加している人の割合を集計する。	45.0 (H24)	51.0	55.0																										
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	25,639.1百万円	A	19,497.1百万円(うち提案 事業分 316.7百万円)	B	1,642.4百万円	C	4,499.6百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	18.78%																	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期		平成30年8月
事後評価の実施体制	公表の方法		市ホームページ
学識経験のある者や市議会の議員等で構成する、東海市社会資本整備総合交付金評価委員会にて、整備計画の評価を実施			

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29				
1-A-1	都市再生整備計画	一般	東海市	直接	東海市			荒尾周辺地区都市再生整備計画事業	平洲と大仏を訪ねる花の道等 414ha	東海市					149.6		—		
1-A-2	都市再生整備計画	一般	東海市	直接	東海市			加木屋周辺地区都市再生整備計画事業	市道三ツ池線、加木屋緑地等 530ha	東海市					981.6		—		
1-A-3	都市再生整備計画	一般	東海市	直接	東海市			太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(地方都市リノベーション事業)	太田川駅東広場、東海太田川駅 周辺土地区画整理事業等 473ha	東海市					12,082.1		—		
1-A-4	街路	一般	東海市	直接	東海市			東海太田川駅周辺土地区画整理事業	面積 A=64.3ha	東海市					905.0		—		
1-A-5	街路	一般	東海市	直接	東海市			(都)横須賀駅西通線	現道拡幅 L=150m	東海市					400.0		—		
1-A-6	道路	一般	東海市	直接	東海市			市道三ツ池線始め8路線	現道拡幅等 L=1,540m	東海市					1,138.6		—		
1-A-7	街路	一般	東海市	直接	東海市			(都)太田川駅北線(地中化事業)	延長 L=1,300m	東海市					177.6		—		
1-A-8	街路	一般	東海市	直接	東海市			(都)太田川駅前線(地中化事業)	延長 L=1,280m	東海市					174.3		—		
1-A-9	街路	一般	東海市	直接	東海市			(都)太田川駅東線(地中化事業)	延長 L=600m	東海市					115.4		—		
1-A-10	街路	一般	東海市	直接	東海市			(都)養父森岡線	延長 L=800m	東海市					2,100.0		—		
1-A-11	都市再生整備計画	一般	東海市	直接	東海市			太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業	大田公園、天尾崎公園等	東海市					1,272.9		—		
合計												19,497.1							

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
1-B-1	街路	一般	東海市	直接	東海市		東海太田川駅周辺土地区画整理事業	面積 A=64.3ha	東海市						1,158.9	
1-B-2	街路	一般	東海市	直接	東海市		(都)横須賀駅西通線	現道拡幅 L=150m	東海市						49.1	
1-B-3	道路	一般	東海市	直接	東海市		市道三ツ池線始め8路線	現道拡幅等 L=1,540m	東海市						146.0	
1-B-4	街路	一般	東海市	直接	東海市		太田川駅周辺地区電線類地中化事業	延長 L=800m	東海市						288.4	
合計													1,642.4			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-B-1	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)の進捗に合わせた整備により、安心・安全な都市づくりを推進する。											
1-B-2	都市拠点と位置づけられている太田川駅周辺の整備を行う東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)の進捗に合わせて、地区拠点である尾張横須賀駅周辺の整備を行うことで、快適で利便性の高い都市づくりを推進する。											
1-B-3	東海市加木屋周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-2)による必要な基盤整備に合わせ道路事業を実施し、安心・安全な都市づくりを推進する。											
1-B-4	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)の進捗に合わせた整備により、安心・安全かつ快適で利便性の高い都市づくりを推進する。											

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	調査計画	一般	東海市	直接	東海市		太田川駅西新田地区まちづくり基本調査	まちづくり調査・検討、整備計画策定等	東海市						125.0	
1-C-2	調査計画	一般	東海市	直接	東海市		高横須賀南部地区まちづくり基本調査	まちづくり調査・検討、整備計画策定等	東海市						80.0	
1-C-3	調査計画	一般	東海市	直接	東海市		加木屋北部地区整備計画策定事業	まちづくり調査・検討、整備計画策定等	東海市						80.0	
1-C-4	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		東海市浸水対策事業	用地買収、測量、設計委託、整備工事等	東海市						500.0	
1-C-5	施設整備	一般	東海市	間接	西知多医療厚生組合		新病院整備事業	新病院整備 4.2ha	東海市						1,000.0	
1-C-6	調査計画	一般	東海市	直接	東海市		東海市総合交通戦略策定事業等	総合交通戦略策定、図書作成等	東海市						22.0	
1-C-7	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		いきいき元気推進事業	健康交流施設整備、グラウンドゴルフ場整備等	東海市						722.3	
1-C-8	調査計画	一般	東海市	直接	東海市		まちづくり交付金事業効果分析	事業効果分析等	東海市						15.7	
1-C-9	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		放置禁止区域等標識等設置事業	放置自転車等保管場所整備工事、看板設置等	東海市						4.6	
1-C-10	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		駅前トイレ等整備事業	設計委託、整備工事等	東海市						110.0	
1-C-11	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		渡内3号公園整備事業	設計委託、整備工事等	東海市						40.0	
1-C-12	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		鉄道高架関連整備事業	測量、調査、設計委託、整備工事等	東海市						300.0	
1-C-13	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		冬至池13号線整備事業	用地買収、測量、設計委託、整備工事等	東海市						50.0	
1-C-14	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		太田川駅西回遊性促進施設整備事業	回遊性促進施設整備工事等	東海市						1,150.0	
1-C-15	施設整備	一般	東海市	直接	東海市		平洲と大仏を訪ねる花の道整備事業	整備工事等	東海市						300.0	
合計													4,499.6			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)と一体となり、太田川駅西新田地区のまちづくりについて調査検討・整備計画を策定することにより、快適で利便性の高い都市づくりを推進する。											
1-C-2	東海市加木屋周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-2)と一体となり、高横須賀南部地区のまちづくりについて調査検討・整備計画を策定することにより、快適で利便性の高い都市づくりを推進する。											
1-C-3	東海市加木屋周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-2)と一体となり、加木屋鈴井田地区のまちづくりについて調査検討・整備計画を策定することにより、快適で利便性の高い都市づくりを推進する。											
1-C-4	東海市荒尾周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-1)による必要な基盤整備に合わせ、浸水対策事業を実施し、安心・安全な都市づくりを推進する。											
1-C-5	東海市加木屋周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-2)による必要な基盤整備に合わせ、新病院整備事業を実施し、医療機能の向上による住民が心地よく健康に暮らすことができる都市づくりを推進する。											
1-C-6	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)による必要な基盤整備に合わせ、東海市総合交通戦略を作成し、安心・安全な都市づくりに加え生活利便性の向上を推進する。											
1-C-7	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)と一体となり、健康交流施設整備、グラウンドゴルフ場整備等を行い、住民が心地よく健康に暮らすことができる都市づくりを推進する。											
1-C-8	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)の事業効果検証し、今後の東海市の目指すまちづくりに反映する。											
1-C-9	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)による必要な基盤整備に合わせ、放置禁止区域等標識等設置事業を実施し、安心・安全な都市づくりを推進する。											
1-C-10	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)による必要な基盤整備に合わせ、駅前トイレ、喫煙所等を整備し、住民が心地よく健康に暮らすことができる都市づくりを推進する。											
1-C-11	東海市荒尾周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-1)による必要な基盤整備に合わせ、街区公園の整備を行い、住民が心地よく健康に暮らすことができる都市づくりを推進する。											
1-C-12	東海市加木屋周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-2)による必要な基盤整備に合わせ、鉄道高架事業に関連する測量、調査、設計、整備等を実施し、整備効果の促進と快適で利便性の高い都市づくりを推進する。											
1-C-13	東海市加木屋周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-2)による必要な基盤整備に合わせ、冬至池13号線を整備し、住民が安心・安全で暮らすことができる都市づくりを推進する。											
1-C-14	東海市太田川駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-3)による必要な基盤整備に合わせ、立体横断施設等の回遊性促進施設を整備し、快適で利便性の高い都市づくりを推進する。											
1-C-15	東海市荒尾周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-1)による必要な基盤整備に合わせ、散策路の整備を行い、住民が心地よく健康に暮らすことができる都市づくりを推進する。											

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>・太田川駅周辺における都市再生整備計画事業【地方都市リノベーション事業（第2期）及び第3期事業】や土地区画整理事業、街路事業（電線類地中化事業）等の進捗により都市拠点の形成が図られたことが、生活環境の向上や鉄道駅の乗降客数の増加につながっている。</p> <p>・荒尾周辺地区都市再生整備計画事業における「平洲と大仏を訪ねる花の道づくり」や公園、交流施設等の整備により、地域の歴史や独自性を感じられる環境整備が進み、多世代住民が安心して集える場が創出されたことが、生活環境の向上や多世代住民の交流の促進につながっている。</p> <p>・加木屋周辺地区都市再生整備計画事業における、小学校等の防災拠点施設の整備と道路・公園等の都市基盤の一体的な整備により、安心して快適に暮らせる環境づくりが進んだことが、生活環境の向上につながっている。</p>					
II 定量的指標の達成状況	指標① 生活環境の向上による満足度を増加させる。	最終目標値	60.0%	目標値と実績値に差が出た要因	当初（平成24年度・52.4%）及び中間評価時（平成27年度・54.8%）と比較すると増加しているものの、最終目標値未達成となった。指標①を構成する市民アンケート3項目とも、当初と比較して増加している。事業実施により市全体の生活環境の向上は一定程度感じられるが、電線類地中化や公園整備などが一部未完了であることから、具体的な事業に関する満足度の向上につながらず、目標に達することができなかったと考えられる。また、評価時点の最新の市民アンケート結果はH29.1時点のものであり、評価時点としては平成28年度となっていることが最終目標値（平成29年度末時点）の数値まで到達していない要因の一つと考えられる。		
		最終実績値	55.8%				
	指標② 鉄道主要駅（8駅）におけるの乗降客数を維持する。	最終目標値	41,546人/日			目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業や駅前再開発事業が進展し、市内の生活利便性や駅へのアクセス性が向上したことで、主要な鉄道駅の乗降客数が大幅に伸びたと考えられる。
		最終実績値	50,874人/日				
	指標③ 市民活動に参加している人の割合を増加させる。	最終目標値	55.0%			目標値と実績値に差が出た要因	当初（H24年度・45.0%）及び中間評価時（H27年度・46.0%）と比較すると、市民活動に参加している人の割合は着実に増加しているものの、最終目標値未達成となった。事業実施によりハード面の整備は進んだが、整備箇所に関して市民への周知が不十分であったことから、整備された公共施設における市民活動が活発に行われず、指標の向上につながらなかったものと考えられる。また、評価時点の最新の市民アンケート結果はH29.1時点のものであり、評価時点としては平成28年度となっていることが最終目標値（平成29年度末時点）の数値まで到達していない要因の一つと考えられる。
		最終実績値	46.6%				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		-					
3. 特記事項（今後の方針等）							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹事業の「太田川周辺地区（第3期）都市再生整備計画事業」について、公園整備等一部の事業で遅れを生じていることから、第4期計画（平成30年度～平成33年度）を策定し、次期計画内で事業の完了を目指す。 ・ 今後の超高齢社会に対応した「医職住」が整った市街地形成のため、公立病院が立地する保健医療福祉拠点周辺において都市再生整備計画（平成30年度～平成34年度）を策定し、新駅整備や医療施設の高次化を目指す。 ・ 社会資本総合整備計画事業により市内のハード整備が進んだことから、今後はソフト整備や市民への周知活動を行うことで、整備箇所の利用促進や事業に関する市民の意識向上を図る。 							

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

